

レイテ島タバンゴ町の親善大使就任 被災地の笑顔を支えたい

「日本とフィリピンの架け橋になりたい」と話すのは、赤坂友紀さん。平成25年11月の大型台風で壊滅的な被害を受けたレイテ島で早くから食料寄附などの復興支援に携わり、渡回数は実際に13回にもおよぶ。3年余りの活動が認められ、今年1月、日本人初の親善大使に任命されました。

死者7400人

私は、当初ボランティアでレイテ島へ渡ったのですが、被災しても笑顔でたくましく生きる村人に心を打たれ、帰りの切符を手放して滞在延長を決めました。島全体が激しく被災した中で、支援の届きにくい北西部のタバンゴ町を活動の拠点に活動の拠点です。

バナナチップス

被災地の母親たちが自信をもって作るのは、レイテを襲った台風「ヨランダ」の名を冠したバナナチップス。雇用創出を目指し、野々市市内にある「コミニティトレードアル」さんの協力を得て販売中です。

第二次世界大戦の激戦地レイテ島には、多くの日本兵の慰靈碑があります。戦争の功罪を許すが忘れないとフィリピンではいいます。ほんの70年前に敵として戦った私たちが、復興支援といって友情を育めることを尊く思い、架け橋となることに使命感を感じます。



赤坂 友紀さん

(高橋町)

プロフィール

名前 あかさか ゆき
誕生日 4月 24日
出身地 兵庫県神戸市
野々市に住んで5年
趣味 フィリピンの良さを伝えること

点に選びました。

許すが忘れない

レイテ島には、多くの日本兵の慰靈碑があります。戦



今月の表紙

今月は菅原小学校にて入学式後、教室で撮影した1枚です。新入生たちはキラキラした好奇心の目で「あれ何?」「撮られてるよ!」とカメラに興味津々。可愛い笑顔を向けてくれました。毎年入学式の取材に行くたび、「イスってこんなに小さかったっけ」と内心しみじみしてしまいます。背景に写るランドセルロッカーや道具箱などを見ると、懐かしい気持ちがこみ上げてきますね。

(問題は 10 ページ)

【第1問】C 能美市

平成29年4月から、ごみ処理業務および消防業務について、白山野々市広域事務組合に川北町が加入。組合を構成する団体は白山市・野々市市・川北町の3市町となりました。

【第2問】A 3

のっティ、のんキーに引き続き、今回で3作品目の完成。市文化協会のキャラクター『ののぶん』のえかきうたです。

【第3問】D サル

止まれシールには「みぎみて ひだりみて」の文字とともにサルのイラストが。飛び出し事故の防止に役立てられています。

テレビ広報 金沢ケーブルテレビネット

デジタルハイビジョン009ch

ののいちふれあい通信

8:00~8:30、18:00~18:30

ラジオ広報 えふえむ・エヌ・ワン

FM放送 76.3MHz

パソコン、スマートフォンのアプリでも聴けます!

FM-N1ホームページからクリック!

▶ <http://fmn1.jp/>

ホームタウン野々市

月~金 / 6:30~7:00、11:15~11:55、16:00~17:00

● 広報4年目の春を迎えました。朝職場に着くまでに紙面を思い返し、新しいアイデアを考えるのが習慣になっています。不思議なもので、パソコンに向かってずっと考えていても文章が浮かばないので、その短い時間でふと降りてくることがあります。これからよろしくお願ひいたします。(T・K)

● 「ICHII おし市民」コーナーで登場したバナナチップスは、無農薬・無肥料で自然栽培したこだわりのバナナが使われています。「奇跡のリンク」ならぬ奇跡のバナナですね。ココナッツオイルで素揚げなんだとか。現地での支援は高難度でも、選び・購入する支援は、私にも始められそうです。(K・N)

編集後記